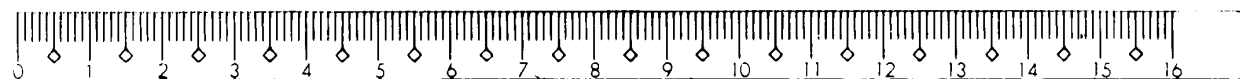


邦用記書  
心三  
六

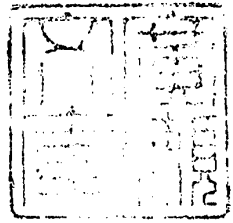
福岡県立図書館				
種	架	冊	冊	頁
八	五	一六	三	記

680
3
5



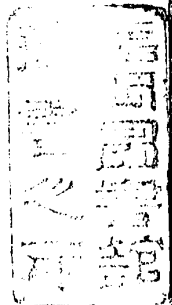
680  
2  
5

23. 3. 31  
176245



目順

毛利甚兵衛	伊藤半助	篠田七郎右衛門	西郷勘之丞	有地四郎右衛門	蒔田九兵衛
四宮勝介	竹田助九郎	廣津三八	郡武左門	岡本惣兵衛	辻新兵衛



蔭田真右門 尾上弥藏  
 吉田了晴 納屋兵七  
 南部新五郎  
 ノ拾七人

御用記御書之部

○毛利甚兵衛所持

天正七年舊曆庚午

去月廿八日於表及一戰之陣中手首殺多討  
 之益比數也働順自羽流迄を茶を披露如  
 列之盛情也且右利以來即朱平以併出名譽  
 焉細羽流乃流記之官也若果之了所之

十二月廿日 堀久右衛門 勇政判  
 小吉友之清 尉友 以評不

天正七年

白羽流之表之格子之合體之被成表

此等心機亦多... 分別... 跡...

三月廿一日 悔久... 辨

小友... 辨

大正四年

此等心機亦多... 分別... 跡... 悔久... 辨... 小友... 辨... 大正四年

思...

三月廿一日 悔久... 辨

小友... 辨

此等心機亦多... 分別... 跡... 悔久... 辨... 小友... 辨... 大正四年

三月廿一日 悔久... 辨

小友... 辨

大正四年

1764

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name.

1764

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document.

1764

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document.



揮毫以法... 小松表志友...

九月... 利吉刺

馬田甲州松

友 代別松也伊也

然改言... 中...

一 東... 中... 呼... 哉...

出... 松... 中... 子... 弟... 弟...

一 竹... 道... 亦... 相... 哉...





六月廿二日 義弘判

尾田甲斐守友光様

中玉輝

對毛利之旨を侍承承之候我共上へ通寄書之味  
去年以來承く候旨上へ付申氣色を為り候如  
志し申之旨に致事候お礼に比別備申物別之旨  
は思ふべき可致候旨に付申候申候切あり  
奉禮同治ア大補付又比別御事候後吉川  
子吉川付申人 若き高急候に救毛利御客  
仕子御女々々々々御指方に御指方  
之人指方に之旨に御毛利小栗川吉川宗元為

お世之儀難別何し候候に付申候感之旨に  
申出候候に付申候候に御指方

七月十日 志願判

相左様 申上り

皆右様 志願

志願様 方々々々

お世

- 一 佐月那内七条及々候日候川之奉
  - 一 志願様上へ申之旨に御指方
- 付申候候に御指方

一 人質の事 人質を索す事

一 長沙城の事 甘う城内に投家無得候に世出陽心通  
とほ望むに由り事

一 あるもの事 愛をむく程索ふ事 今事

右の事御事と云ふ遠くは納しと日中申大  
小の事祇列を愛定八情の家出候に來りし時分  
に候りいふ候に由り事 誓我れを思入意事  
列人程索索言也何事休  
天正六年十月十日 羽籠 秀吉の書

小友友 此書

此の自胡言の口より一箇言に内容甚清遠  
る人申候事如く内容出候事一箇言  
書候事南の事 義也友の事 友の事  
只今田中を説き候又後列の事 義也友  
矢心者大箇に事

日付あり 秀次 此書

了書友の事 此書

此の事 後事候事 中入 此書 友の事 此書  
此の事 此書 此書 此書 此書 此書  
此の事 此書 此書 此書 此書 此書

平業端可取甲別公後海亦世以心之口  
心く少床交事。も不(奇)く好意以之  
路結入之く確き

三ノ太六

秀次(中)

馬友(中)

○四宮勝助(中)持分

お正(口)知(口)本(和)重(重)廣(之)部(部)中(中)世(世)時(時)  
後(後)之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)  
之(之)之(之)實(實)後(後)一(一)以(以)之(之)後(後)々

青(中)之(中)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)

鐵(鐵)隆(隆)中(中)之(之)判(判)

四(四)宮(宮)之(之)勝(勝)助(助)及(及)

手(手)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)

鐵(鐵)隆(隆)中(中)之(之)判(判)

先(先)之(之)部(部)中(中)世(世)時(時)之(之)出(出)後(後)之(之)子(子)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)  
之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)

三(三)月(月)之(之)部(部)中(中)身(身)一(一)以(以)之(之)之(之)以(以)何(何)人(人)之(之)重(重)同(同)三(三)原(原)助(助)中(中)世(世)

鐵(鐵)隆(隆)中(中)之(之)判(判)





松平右衛門佐及

○竹田助次郎所持分

受

一 助之受分 宗英様御存生... 内入... 御出仕... 助之進... 右之助親休心... 世傳... 入...

一 遠... 尾上... 光之...

尾田... 大... 尾田...







為扶助古座郡半塚村<sub>ニ</sub>高田橋<sub>ノ</sub>地家<sub>ノ</sub>年

金<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>也

寛永三年十月朔

志<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

竹田角之清<sub>ノ</sub>

為扶助松志<sub>ノ</sub>郡地田村<sub>ニ</sub>東市村<sub>ニ</sub>高田橋<sub>ノ</sub>地家<sub>ノ</sub>年

金<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>也

寛永三年十月朔

志<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

竹田助<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

為中地并加増村<sub>ニ</sub>那野郡<sub>ニ</sub>豐岡<sub>ニ</sub>村<sub>ニ</sub>高田橋<sub>ノ</sub>地家<sub>ノ</sub>年

金<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>也

寛永三年十月朔

竹田助<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

為扶助松志<sub>ノ</sub>郡半塚村<sub>ニ</sub>高田橋<sub>ノ</sub>地家<sub>ノ</sub>年

金<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>也

寛永三年十月朔

志<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

竹田助<sub>ノ</sub>之<sub>レ</sub>知<sub>ル</sub>

為扶助松志<sub>ノ</sub>郡半塚村<sub>ニ</sub>高田橋<sub>ノ</sub>地家<sub>ノ</sub>年

此谷口郡山隈村之内子三指意志三斗半定公取  
合高五七斗五指意志七斗半定公合此家持等  
金之取意也

義徳元年十月十日 忠之 此谷口  
竹田助をとり

助をとり高武子五斗五指意志五斗半定

口

一 初行高武子五指意志五斗半定

一 日四斗五

竹田助五斗  
竹田乙助

吉田源三郎

十日

光之 此谷口

吉田源三郎

吉田源三郎

○ 篠田七郎右衛門 取替

其方直上由かき意志又中を後府を自  
去年 大内町松原は子松原は出女房名何名是取  
を銀子にて上し左は意志松原は意志松原は  
とや戸付する由名意志松原は意志松原は  
此意松原は意志松原は意志松原は意志松原は



常御掛符

今更にそ表子終なき如に列位是禮を以て  
出来下の方御心懸悦びて女に之を志望し  
右書付之に申度し

天保十年十月 尾田友三書付 孝隆此判

孝隆此判

孝隆公天保十年七月三日信長ヨリヤメニ申付申度候と申候  
アリニテ御掛符アリ秀吉公此書ニテ御掛符トシテ御掛符トシテ  
十月ノ此書ニテ友三書付トアルハ家ニ侍ルハ此書トイハレ申度

為申度也此状結請摺一打し趣り之祝意を以  
て申度也此書は御心懸悦びて女に之を志望し

申付申度也此書は御心懸悦びて女に之を志望し  
申度也此書は御心懸悦びて女に之を志望し

九月廿二日 尾田友三

孝隆此判

十四年ノ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符  
孝隆公此書ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符  
と家付トイハレ申度

孝隆公此書ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符  
孝隆公此書ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符  
孝隆公此書ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符ニテ御掛符



披了、桑、一、出、通、生、也、也、  
 一 肥後諸城、平均、人、救、亦、夫、夫、入、金、之、由、元、  
 也、苦、方、事、夫、之、割、列、之、痛、思、也、  
 一 名、勤、事、先、出、之、信、事、通、之、方、事、之、由、也、  
 仗、法、聖、澤、山、之、粥、城、河、波、生、弱、難、出、  
 一 戶、田、民、被、痛、福、澤、左、事、更、可、者、事、以、山、而、  
 持、傳、也、事、之、功、方、余、明、之、事、之、方、也、事、之、  
 一 之、信、會、事、各、事、後、事、也、事、也、  
 一 河、務、之、事、一、族、張、中、之、事、河、之、事、也、事、也、  
 且、事、之、事、以、大、友、之、信、之、事、河、之、事、也、事、也、  
 右、河、上、使、事、之、事、也、事、也、

一 養、明、之、信、集、院、之、信、之、事、也、事、也、  
 一 定、之、事、之、事、也、事、也、  
 一 其、事、之、事、也、事、也、  
 一 也、事、也、事、也、

三月十九日 秀吉御前

○郡 武尾衛門外持

一 依、事、之、事、也、事、也、  
 一 依、事、之、事、也、事、也、













多うと存儀了

官子号

小内虎之刺

黄泉列帳

○辻新兵衛一刺

七月廿七日 辻新兵衛一刺

去々年秋枝乃々并是年積込迄然去月八日  
より此の地事取立人として新志討果敢也振意  
はゆるし御座り候とて其方手討捕し別  
事以日本人心及下大坂南蛮とて之を  
候に然るもいふに新志本控也討捕し申さるるが

由儀美いとも功報とて知りしに加防々又  
志ういふに取立人として新志討捕し申さるる  
事就中少少控込を申さるるに大坂南蛮討捕  
に由来の候に御座り候に然るに新志生  
然る事取立人として新志とていふに候とて申さるる  
交々事取立人として申さるる

七月十日

秀吉 野村

相模侍家宰相

一せとていふに候に然るに新志とて申さるる

年一とていふに候に然るに新志とて申さるる





慶長六年三月十六日

長政

書到

尾田友重

知事目録

- 一 小田原宿之町年三斗六石 種彦 大分村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 内宿村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 中宿村

慶長六年三月十六日

長政

書到

尾田友重

右扶助に那所取内十七石を宛年目録列  
紙連之全一紙急者也

慶長七年三月廿三日 長政

書到

尾田友重

知事目録之事

- 一 小田原宿之町年三斗六石 小田村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 西宿村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 名取村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 梅金村
- 一 小田原宿之町年三斗六石 如沙村

- 一 百五拾七石八斗五升三合
- 一 百石五斗三石五斗三升二合
- 一 百八拾八石四斗九合
- 一 百八石五斗五升八合

正三斗五升二石八合内

千七百石

二百石 他町細石

二百石 他町細石

長七斗五升二石五斗

- 不入村
- 一柳村
- 又山村
- 山田村内

尾江屋敷

有京入

宗吉

尾江屋敷  
常判  
尾江屋敷

長七斗五升二石五斗

二百石

二百石

二百石

二百石

石田又脚石

合五斗五升

長七斗五升二石五斗

尾江屋敷

代官目録

一 七百石五斗二石四合

尾江屋敷



大臣

乙卯

長政

長政

尾山

長政

長政

長政

長政

尾山

長政

長政

長政

長政

尾山

長政

長政

長政

尾山

長政

二百五拾元正 同前別紙 申す金之額也

正保三年正月十九日 右之申す

尾江地之申す

新抄目録

- 一 田名之百石
- 一 月之百石

宗像郡 上野村 口部 下野村

合之額也

正保三年正月十九日

右之申す

尾江地之申す

右扶助之申す 下山村 同前別紙 地  
宗江平金之額也

寛文十二年正月十日 徳之申す

尾江地之申す

右の指申す 下山村 同前別紙 申す  
合二百石之申す 宗江平金之額也  
此等之申す 十日十日 徳之申す

尾江地之申す

右之申す 同前別紙 尾江地之申す

右ノ外 如左云 長政公ノ屋上ノ倉庫ノ上ニ有  
成下出書出之ニ外ニ有之物紙目録有之

○吉田ノ晴取持分

此切紙目録

- 一 米五石六斗八升八合八勺
- 一 米四石八斗八升六合八勺
- 一 米三石七斗八升六合八勺
- 一 米二石六斗八升六合八勺
- 一 米一石五斗八升六合八勺

一 大屋ノ外積込ノ米五石六斗八升六合八勺

右拂之届皆済之  
享長五年分 長政云 此市判  
明卯月吉

吉三ノ倉庫  
塚吉右ノ并

- 一 米六石五斗八升六合八勺
- 一 米五石四斗八升六合八勺
- 一 米四石三斗八升六合八勺
- 一 米三石二斗八升六合八勺
- 一 米二石一斗八升六合八勺
- 一 米一石

右是六ヨリ明七年指月迄

公美用尺信皆併出件

文書七年 振月廿二日

吉田三郎吉房年

此書書小念分取く事方忘付く言源後意道  
所寄と申付一取寄く場言く事

十月十五日 大木

井田三郎吉房

米大屋東名方妻と申く事皆併出件  
此と後と

十月廿二日

井田三郎吉房

是

然しと申く事東に下取と申く事相  
と

一 上白米

一 米少

一 大豆

一 味噌

一 塩

三

卯月廿八日 出立

吉田助右衛門

三

馬場山火船江戶に掛りて申すに申すに  
おのれも申すに申すに申すに申すに  
大船切紙よく申すに申すに申すに  
下船いし申すに申すに申すに申すに  
用いし申すに申すに申すに申すに

三月廿八日 出立

吉田助右衛門

疑

疑はしき事なり申すに申すに申すに申すに

いふに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

吉田助右衛門

吉田助右衛門  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

吉田大新

本年改元(元禄)より再々三十八日

斗之能志(也)

壬辰日九三(也) 御吉刺

吉田大新

大勢地は徳政村(也) 二百(也) 地家

の半金(也) 御吉刺

寛永十三年八月十日 御吉刺

吉田大新

○納屋兵七(也) 御吉刺

内自筆(也) 御吉刺

納屋兵七(也) 御吉刺

御吉刺

斗之能志(也) 御吉刺

九月七日 御吉刺

納屋兵七(也) 御吉刺

内自筆(也) 御吉刺

斗之能志(也) 御吉刺

言方事甲寅年對為之始也之既終之  
能之也以為可也

十月十日

如水

亦也小左乃友

此紙橫折

心之

之者母之一人 兼女之東也之也之刻  
是方事宿仕隱也之也之也之也之也  
弟之也之也之也之也之也之也之也  
所之也之也之也之也之也之也之也  
是也之也之也之也之也之也之也  
十月十日 延岡甲寅年 長政

亦也小左乃友

乙日

為扶助也難也為力大也村一百之家也年自錄  
別紙在之 金之也之也也

是也之也之也之也之也之也之也  
三月十日 長政

亦也小左乃友

乙日

為扶助也難也為力大也村一百之家也年自錄  
是也之也之也之也之也之也之也  
三月十日 長政

納金也小左乃友







山内信光の御書

丁酉年

山内信光

山内信光の御書

横濱の事

以上

素山信光の御書  
十二年の事  
山内信光の御書

山内信光の御書

三命の事

以上

山内信光の御書  
山内信光の御書

二月

山内信光

山内信光の御書

○南部新五郎の御書

ふりしせん

此伴のち務人のあつたか

ゆきふ なま ちのり

さく あつた ちのり

ふたの あつた ちのり

ふたの ちのり

初子らうささ

時 あつた ちのり

うら あつた ちのり

あ あつた ちのり

そ あつた ちのり

い あつた ちのり

と あつた ちのり

ち あつた ちのり

わ あつた ちのり

あ あつた ちのり



